



夜半以前であれ

眞 繼 雲 山

楯にすら両面がある人生に幸福と不幸との両面が無からう筈がない。大臣にも富豪にも貴婦人にも、それ／＼の悩みはあらう。殊更にその悩みを考へ求めるならば、人生とは苦惱の世界である。紅顔は白髪となり美人は白骨となり、爛漫たる櫻花にも落花の悲哀を必然とする。その半面の落花を見て憐れむること勿れ、たゞ燎亂の研に浄土を眺めよ。

斯く申す私にも、数々の不幸はあつた、物質的には今も現に幸福とは言へないしかしその不幸を詮議したとて何の意義があらう。人生とは觀照である、涙の内にも光りを見よ、そこに感謝があり、讃仰があり、法悦がある。

不幸は措いて問はず、私の幸福であることの一つは終生を通じて、學徒として道を求めてゆき得ることだ。限りなき未知の世界を押し開きつゝ進んでゆき得ることだ。頭は禿げかゝつても私はその点で、生涯を通じて青年學徒たり得る。

朝な／＼鏡に向ふとき頸には白毛の數を増し、頭髮

はいよ／＼禿げ上つてくることを發見する。しかし女房よ、驚くことはない、頭は禿げても、私は生涯を通じて、道を求める青年學徒だ、そこに燃ゆる如き春の野の前途が展開してゐる。さうしてそれは永遠の世界につながるのだ。

悟つてしまへば、佛書は鼻紙にしかならぬといふ話であるが、成るほど悟る手段としての佛書であつて見れば、悟後の佛書は鼻紙に過ぎない。迷へる者にのみ佛の救ひがある。悟つたものに取つて佛様に用事はなない筈。佛に無用ならば宗教の世界もあるまじ。宗教とは求むる者の道であり、人生とは求道の旅である。

私の知人や先輩にも、佛教を究めつくし、悟り了して讀書にも參學にも興味なく又その必要すら無いやうに見える人々がある。花開き花散り、實結びたる唯だ寒巖枯木の状は、如何にも秋風落葉の感に堪えぬであらう。それに比べると、私の前途は常に未知參學究の寶庫だ、そこは生きてゆく人の生の興味を滾々と湧いてゐる。

粹人のお方は「覺後禪」といふ世にも比類なき漢書を讀まれたことであらう。その書中の主人公は「未央生」といふのである、未央生とは「夜る未だなかばならず」である、そこに人生の價値がある。烏啼き、雀さへづり、後朝の別れといふことになつては、モウ人生はお仕舞ひだ。富豪は財力におけるきぬ／＼である、大臣は官海におけるきぬ／＼である、私は生涯を通じてきぬ／＼の別れなんぞはお断りだ、人生の價値は未央生たるにある。

私は未だ極樂浄土を知らぬ、しかし佛書に入り、法を聞信し、偉大なる自然に親しみ、崇高な藝術に接するときは、また見ぬ浄土の光景を歴々として眼前に髣髴することが出来る。私に取つてはその浄土こそは久遠の生の展開であり、永久的な活舞臺である。無我に入り私といふものから離れたとき、如實にそれを體驗する。

私の人生は常に未央生である、そこに満たされない困難もあるが、それは楯の半面に過ぎぬ。精神的に求めて盡きぬ無限の世界ある故に私は生涯を通じて常に夜半以前であり、そこに生きてゆく興味と力とを失は

ぬであらう。法の友よ、悟り難きを憂ふる勿れ、たゞ求めて常に倦まざれ、久遠の人生は前途に在る。

市原醫院
 平町田町
 電話一四四番

外科

門 專 光 X
 科 線
 上田外科醫院
 平町南町
 電話一二九番

葬具と
 靈柩自
 動車御
 用達

▼新らしく安い

造花

は
 町川新町平
 屋 本 橋
 番三六一話電

度量衡、計量器、吸入
 用酸素、酸素吸入器

關内藥局

電話四〇番

三井
 タクシー

電話六八五番

初夏の海に……
 トモモはがらからです
 新緑と情熱の……
 ローマンスと郷愁の海邊へ……
 一日の清遊を
 お試みになりませんか
 尼子タクシー
 電六四〇番

傘日とルソラパ
 美影點の傘日とルソラパ・頭街の日麗

○四一電 ヤルツ 四 平

赤い目に一滴できく
 かゆ目

家傳 神 教 水 (新容器入)
 平町二丁目(電三三六)
 堀 藥 局

金 銀 高價買入ます
 プラチナ

平町田町丸新デパート
 假 營 業 所
 根本時計店

昨今の天候が災として

マユに病毒発生

郡南方部は軟化病で減収

組合が対策に努力

石城養蠶業組合では上簇期にある昨今例年になく天候の冷湿の爲め、繭の病害が発生し既に郡南窪田勿來方面には軟化病に胃されて減収を見越される程である爲め同組合では近く是れが対策として上簇後の警戒法としてコマ抜きを勵行し品質を低下せしめぬ事及び保温を常に七十五度以内に置き空氣の流通を計り冷湿を防げ等大重となつて注意を發して居る

つたが未だ具体的に進んでをらざるも魚油製造に對しては魚港の事業として至極囑望されるもわざ／＼平町においてこの事業を經營することは地理上の不便も伴ひ運賃その他の諸掛かりもかさむことと見られ果して

有望のものとして將來實現するか否かは疑問であり養蠶事業についても實際問題として實現の可能性を懸念されてをり何れにしても相當時日を要するものと見られてゐる

平小鐵道

一ヶ年繰上運動

労作と情操教育

平第二校立案

平小名濱間の平小鐵道敷設一ヶ年の繰上げの促進運動は屢報の如く小名濱商港の修築が本年度工事に十萬圓の追加を得て四十五萬圓になつた結果防波堤築設に非常なる進捗を見せてゐるので随つて同港と相關するに於ける鐵道の敷設は此の際一ヶ年繰上げの明八年度着工が當然であり且つ塗炭の苦に泣く地方農家及び失業者の多數が之に依つて救はれるものも少なくないといふので縣選出の一部の代議士からも建議案を提出されるに至つたが平、小名濱飯野、玉川等沿線關係の町村長は石城郡町村長支會代表を兼ね今

心細い

資源調査

平町是調査會の資源調査委員會では漁油製造と養蠶事業を勃興させ町發展を講ずべく縣水産試験場より技師を招聘し調査するとあ

豊間、山田各一〇 川部 渡邊、田入、入遠野各五 双葉五〇 茨城三〇 田村五

郷軍出動

忠魂碑

建設勞作

江名町にて

石城郡江名町在郷軍人分會ではこの程同村小學校庭に招魂碑を設置すべく去る十日協議の決果工費三百圓を以つて着工する事に決定昨日より會員出動敷地の土盛材料の運搬等を開始したと

みのり會 平町みのり會は十日午後一時よりマルトモホールに於て婦人講演會を開き津田第二小學校長の「家庭平和の道」と題する講演を傾聴する事になつて居るが實際教育に多年豊富なる体験を有する同氏の講演は平町婦人の間に多大の期待を持たれて居る事であり有意義な會合と目されて居る尚ほ終つて座談會に移る筈で一般婦人の來聴を歓迎すると

昨日の 四倉爾市場 四倉爾市場第二回取引は昨日午後二時より大野村方面よりの白蘭百五十貫を取引したが最高二圓二角七分最低二圓八錢買馴二圓十五錢を以て行はれ相場は十九掛であつたがこの相場は石城地方の標準と見られて居ると

磐中生の

町村別

磐城中等學校に於ける本年度全校生千二百名の各町村別次の如くである

- 平町三一五 内郷一三五
- 湯本八〇 好間五五 小名濱五〇 植田、赤井、草野、神谷各四〇 四倉勿來、泉、磐崎各三〇
- 大浦、平窪、上下小川 夏井各二五 大野、飯野 江名、各一五 高久

全日本

剣道大會

磐中平商共に出場

磐城中等學校及び平商業學校の剣道部にては來月三日東北帝國大學体育聯盟剣道部主催にて同大學道場にて舉行される第三回全日本中等學校剣道大會東北隊選會に出場するため目下猛練習中である

平校參觀開始

各小學校にては既報の如く本日より公開教授を開始したが參觀者は各校共七八十名に達し頗る盛況を呈し明日も續行すると

平町人事

△材木町一三當時石川郡石川町彌吾一〇二佐々木金太郎氏長女秀子 回 死 亡

△神間町一三連實ミヨ(一)

揚物其他凡ゆる食用に 滋養豊富な……

鳥の油を!!!

おすゝめ致します

四合瓶詰 一本 〇、三〇

鈴木鳥肉店

平町播磨小路(電話六五四番)

平新川町十九

木村病院

電話一六四番

産婦人科 院長 木村寅次郎
内臓外科 醫學士 松永憲一
整形外科

帝國生命

帝國生命保險株式會社現在契約加入者氏名簿を分讓す保險の再勘誘信用調査物品賣込等に絶好目標なり返信料三錢封入御照會次第委細回答す

東京 神田 通信販賣研究會
今川小路二の三

無代進呈

佛教書籍佛畫佛像佛具施本目錄ハガキ御申込み次第無代送呈す(此の新聞名を御記入)

東京九段下 日本佛教新聞社

うなぎの御用は……

電話五四七番へ

料理 江戸川

平館前通り

炭礦の夏がれ

不況切抜の爲めに

各炭礦が公休日増加の傾向

漸次需要期を脱しつつある常磐地方炭礦界は昨今いよ／＼夏枯期に入つたので、いづれも消氣返つた状態であるが、これが對策に腐心してゐる出炭の

制限も

現在では最大限度の二割五分を實施してゐる始末なのでこれ以上に増率する事は不可能であり、又従業員を減首整理する事も亦時節柄不穩當を招く結果となるので、茲もと頭痛の体であるが昨年

同期に

比し一割強約でも少く一ヶ月四日多くは一月六日からの休日があるの上公休日を増加する事は結局表面体裁を飾つて實質的に坑夫の収入を減せしむるもので却つて生活を脅威する事となるのでこれ又行惱みの体である

一〇五百トンといふ激減振りの數字にこの儘放置すれば到底經營を續けて行く事が出来なくなるので勢ひ公休日を増加するより外に方途なかるべくそれ／＼

研究中

であるが現在でも少く一ヶ月四日多くは一月六日からの休日があるの上公休日を増加する事は結局表面体裁を飾つて實質的に坑夫の収入を減せしむるもので却つて生活を脅威する事となるのでこれ又行惱みの体である

勇躍禁ぜざる

縣下中等校野球戦

強豪を破つた磐中と 處女出場の平商選手

磐城中等校及び平商業學校と一般ファンは今から大いに期待して居る。野球部にては來月二十三、四の兩日郡山市に於て開催される縣下中等學校体育大會のトップを切る縣下中等學校野球大會に出場する爲め左の如く選手を決定し目下必勝を期し猛練習中であるが磐中は昨年第一回戦に於て岩瀬農藝をコールドゲームで敗かし二回戦に福島師範に三對二で惜敗したが今年には強豪双中を二十七對三で破つた戦跡よりみて勇躍禁ぜざるものあるらしく又處女出場の平商は果してどの程度迄戦ふか双中に敗れたりと言ひ條磐中との對抗戦にストレートで勝つた所より見てこれ亦磐中に劣らぬ戦跡を残すであらう

小學兒童の

眠りの時間

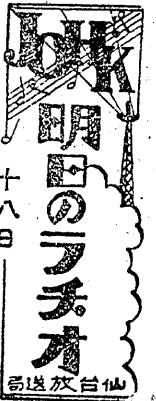
健康及び發育上に 重大な影響あり

平第一校の調査

平第一小學校にては發育期にある少年時代の睡眠時間は運動や榮養と同様に健康及び發育上に重大な影響と關係ある處から同校衛生部に於て全校生徒に對し調査中であつたが其結果發表せられた處に依ると大体左の如き平均睡眠時間であると

年齢	時間
八—九	一〇・〇八
九—一〇	九・五五
一〇—一一	九・四五
一一—一二	九・四一
一二—一三	九・三一
一三—一四	八・五〇

高久青訓修養 石城郡高久村青年訓練所では去



明日のラジオ 十八日 報豫氣天 今晩は北東の風 曇り明日は北の風曇り一時薄曇りもさします

今晩の部

後六、〇〇 子供の時間お話「子供の爲の哲學」廣島文理科大學教授文學博士勝部謙造
後六、二〇 コドモの新聞
後六、二五 カレントトビックス
後七、三〇 臺灣始政記念の夕 臺灣文化普及會主催

明日の部

前九、一〇 料理献立「シ

ヤムクツキース」
前一〇、三〇 家庭講座「精神衛生學上より見たる性癖」ドクトルオプフイロソフイ實生すぎ
後一〇、五〇 吹奏樂 大阪市音楽隊指揮林直
後二、〇〇 家庭講座「箏曲」二〇一 實演解説宮城道雄 唱牧瀬數江
後三、〇〇 競馬中繼 國法人福島競馬クラブ主催春季競馬會狀況(福島市競馬場より中繼)
後六、〇〇 趣味講演「傳書鳩の飼ひ方」松本豊吉
後二、六〇 コドモの新聞

松内則三
後六、二五 カレントトビックス「ハロルドバリア」
後七、三〇 講演「上海事變に關して全國の皆様に」第九師團長陸軍中將植田謙吉
子供の夕
後八、〇〇 唱歌劇「戦争ごっこ」BKコドモサークル
後八、三〇 放送映畫劇「戦争と少年」磯野秋雄外
後九、〇〇 ヴァイオリンピアノ二重奏「定期演奏第一回」ヴァイオリンアレキサンターモギレフスキー ピアノレオシロタ

支店方雇人で宮城縣桃生郡杉村字長尾龜吉次男鈴木留雄(一)假名と稱し昨年より前記書店に雇はれてゐたが故郷戀しさの餘り去る十六日午前六時頃主人の金三圓餘を持出し同日午後四時頃平驛で途中下車をし一休みして居たものと判明目下雇主へ照會中

野外演習 けふ磐中で 磐城中等校第二學年生二百五十名は既報の如く本日前八時より八谷小松庄司各係官指導の下に赤井及小川方面に於て野外演習を行つた

中からは昨年縣下中等體育大會に入賞せる八百米箱崎遠平、三百米白土丑之輔、棒高跳金成合宜の諸君が出場する事として九分通り優勝確實と見られて居る

安直な娛樂機關

映畫館は大賑ひ

去月中の收入六千圓

不況が益々深刻になるにつれ一般人の娛樂も安直な物を求める結果入場料の比較的安價な平署管内の映畫館は割合に活況を呈し平署で去月中檢閲せるフィルム券數が日本物五百三十四卷、西洋物四十五卷、合計五百七十九卷でこの入場者は大人が二萬八千二十九名、小人が二萬一千八十一名、合計四萬九千餘の大衆を呼んで

優勝確實

縣下對校競技 磐中選手出場

濱三郡中等學校對校競技大會は來る二十六日双葉中學校に於て開催されるので磐

故郷戀しく

小店員が

持出し逃走

昨日午後七時半頃平驛待合室に一名の少年が熟睡して居るのを平署員が怪しみ事情を尋ねると同人は千葉縣東葛飾郡柏町の書籍店坂入

- △女中 四十才前後 尋卒 月五圓(平町某)
- △子守 十五才迄 尋卒 月三圓外面談(平町某)
- △小店員 十八才 高卒 月五圓外仕着(四倉町某)
- △求職の部
- △自動車助手 十九才 高卒 給料面談(内郷村某)
- △土工夫 三十五才 給料面談(湯本町某)
- △雜夫 四十一才 尋三修 給料面談(湯本町某)
- △集金員 三十八才 高卒 給料面談(平町某)
- △運般夫 二十二才 高卒 給料面談(内郷村某)

幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第七十八席 眞庭念流達人櫻井五助

アハヤ一騒動

熊谷の料理店に居る怪しい女のおせこは五助に腕をねぢ上げられてポーンと突き放された爲め、襖を外しそれと興に隣り座敷へころがりこむと此處に居たは小川の俠客庄兵衛の賭場防ぎ荒川郷藏といふ者、女を相手に酒を飲んで居たが郷「なんだ貴様は」

せこ「これは飛んだ事をいたしました、あの方に投げつけられました」
と言ひながら五助に指をさした

郷「ヤイこれ其處に居る武家、なんで此のやうな悪戯をいたした、これ見ろ刺身が八方へ散つてしまひ酒もこぼれて居る、これは安い物では無いぞ」
云ふとそれへ入つて来たは音五郎

音「これは荒川先生でございますか、わたしは寄居の虎五郎の若い者でございます」

郷「オ、音五郎か貴様があの武家を伴つて参つたか、あれは一體何者だ」
音「當時親分の許に遊んで居ります櫻井五助先生でございます」



郷「ウンさうか名は承はつて居つた、なんで俺が酒を飲んでゐるこの座敷へ女を投げ込んだ、初對面の遣ひ物ではあるまい」
音「イエそれは先生が冗談をなさいまして櫻井先生は

貴公の戯れとあらば咎めはいたさぬが香も荒れ酒も無くなつてしまつた」
五「改めて一献けんじますコレ、女共その邊を取片付けろ」
茲で座敷を掃除して酒となつたが櫻井はこんな所に長居をするは好ましくない早く歸らうとしたが荒川郷藏の手前をかてて心ならずもこれに居つた、郷藏は段々酔つて來ると顔色が蒼くなり唇をペロ／＼舐めて肩をいからせ

郷「櫻井氏、貴公の劍法の流儀は何か」
五「無念流と溝口派一刀流にござる」
郷「これは恐れ入つた、貴公は兩流に達して居られるかな、二鬼を逐ふものは一鬼を獲すと申す事もあり又二足の草鞋は穿けぬと云ふ事もある一流ですら究めるは困難、口／＼と兩派を究め

るとは貴公は當代の名人だな、手前の學びし劍法は鞍馬流で源義經が牛若丸と申した頃鞍馬山にて天狗より授けられし劍道にて我國始まつてより刀法は此鞍馬流を先祖といはす、貴公も武藝を以て世に立つ者だ此事は覺えて置くが宜い」
五「ハ、鞍馬流天狗が編出した劍道を學びし其許とて大分鼻が高いナ」
郷「何を申す鼻が高いと」
五「左様貴殿の鼻は大層延びて居る、今の内に刈らぬと天井まで屈くであらう」
と云つたが柔和な五助にしては過激な詞です、これも酒に酔つた爲にこんな事を申したのか、郷藏ハツタと怒り

郷「手前の鼻を刈らねばならぬと、それは面白い刈込むことが出来るならば刈つて見ろ」
五「お望みとあらが其鼻を削つてくれる」
郷「ウン削れ」
五「よし、一と鉋掛けて遣る」
これを聞いて驚いたは音五郎

音「荒川先生怒つては叶けません、茶屋酒を飲みながら角め出すは野暮でござんす、又櫻井先生も鼻を刈込むなどといふは宜くねえ、どうぞは穩かにして頂きたいものでございます」
五「イヤ拙者は事は好ぬが荒川氏がとげある事を申されるゆゑ、拙者も詞にとげを持たしてお答いたした」
音「成程、賣り詞に買詞と

いふ事もござります、然し茲は笑つて下さいまし、お前さん方が喧嘩をした事が親分に知れるとわたくしが叱られます、荒川先生は笑つて頂きたいもので」
郷「手前とても事は好ぬ笑つて遣はす」
音「それは有難い事で早速お笑ひ下さいまし」
郷「アハ、ハ、これで宜しからう」
音「櫻井先生もお笑ひ下さいまし」
五「フ、フ、これで宜いか」
音「他の者も笑へ」
仙「ゲタ／＼／＼」
大變な笑ひかたがあるもの、これでどうやら圓く治つた。

運動靴は……
月星
品質は斯界の王
名入れ金具付きの
サーピス
平田町
大塚運動具部
電話七七番

時計眼鏡
トキワヤ
トキワヤ
平一電三三九

旭硝子株式會社製品
赤菱印
板ガラス
菓子食器
硝子壺
其他各種
松崎硝子製作所
平町新川町(電話一四二番)
仙臺市榮町(電話五九七番)

恩給年金 立替
簡易保險即時
無盡通帳 賣買
其他債券
平町一丁目一四番地
鈴木重藏

兩殿下御買上の
御料鹽豚
田町三三三三屋
電話三三三番

貸切の御用命は?
獅子吼(四四九)ノ勢デ
眞先ニ……(マツサキ)
三九二タクシーへ!!!

吉田眼科病院
平町星町、電話六八番